

いざというときの連絡先

消防(火事・救急)……119 警察(事件・事故)……110

役場	嘉島町役場(代表)	096-237-1111	その他	熊本地方気象台	096-356-8080
	嘉島町役場(建設課)	096-237-2619		九州電力送配電(株) 熊本東配電事業所	0120-986-954
	嘉島町役場(総務課)	096-237-1112		NTT(電話サービスの故障など)	113または 0120-444-113
消防・警察	上益城消防署	096-282-1955			
	御船警察署	096-282-1110			
	御船警察署 嘉島交番	096-237-0044			

わが家の防災活用メモ

自宅や周辺の危険箇所

洪水浸水想定区域	<input type="checkbox"/> ある(浸水深 <input type="checkbox"/> ない	m)	その他気になる場所
土砂災害警戒区域・特別警戒区域	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		

避難所・集合場所

指定緊急避難場所	離ればなれになったときの集合場所
指定避難所	

家族などの連絡先

氏名	生年月日	血液型	学校・勤務先の電話番号	携帯電話番号

避難の支援をしてくれる(支援する)人

氏名	自宅・勤務先の電話番号	携帯電話番号

嘉島町 洪水 ハザードマップ



嘉島町周辺の水害対策

加勢川では、昭和63年5月の水害を教訓に、外水氾濫・内水氾濫の被害軽減を図るため、河川改修工事や排水機場の建設を進めてきました。今後も、排水機場のポンプ能力アップや、堤防の強化を引き続き国に要望していきます。

もくじ

●日頃の備え	1
●防災に関する情報	3
●避難について	5
●洪水	7
●避難所一覧	9
●洪水ハザードマップについて	10

家族で防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざという時に、あわてず行動できるように家族で普段から話し合っておきましょう。

また、災害に備えて家の中と外をチェックし、危険な箇所は早めに改善するようにしましょう。



話し合いたい項目 チェック!

- 家の付近の浸水状況や、土砂災害のおそれのある箇所の確認
- 災害が起こった時の身の守り方
- 家族間の連絡方法と、最終的に出会う場所
- 災害別の避難行動
(避難所とそこに行くまでの経路)
- 家族一人ひとりの役割分担
(家族の安否確認、非常持出品・備蓄品の準備・点検、隣近所への連絡など)

※乳幼児・高齢者・病人・妊婦のいる家庭はその避難方法も話し合います。

非常持出品・備蓄品リスト チェック!

非常持出品

いざというときすぐに持ち出せるように、日頃から準備・点検しておきましょう。事前に準備出来ているか、確認しましょう。

携帯ラジオ

- ラジオ
- 電池(多めに用意)



懐中電灯

- 懐中電灯
(できれば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)



貴重品

- 現金
- 健康保険証
- 印鑑
- 預金通帳
- 免許証
- 権利証書



救急医療品

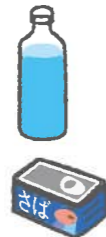
- マスク
- 体温計
- 消毒液
- 常備薬
- ばんそうこう
- 風邪薬、胃腸薬
- 包帯、傷薬
- お薬手帳



非常食品等

火を通さずに食べられるもの、食器など

- 非常用食品
- ミネラルウォーター
- 缶切り
- 缶詰
- 紙皿
- 水筒
- 栓抜き
- 紙コップ



その他

- 衣類(下着・上着など)
- 生理用品
- ウェットティッシュ
- 携帯電話の充電器
- 防災マップ(本書)
- ラップフィルム
(止血や食器にかぶせて使う)
- 離乳食
- 紙おむつ
- 粉ミルク
- ライター
- タオル
- カップ
- ヘルメット



非常備蓄品

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるように確認しましょう。

飲料水

- 飲料水として
ペットボトルや缶入りの
ミネラルウォーター
(1人1日3リットルを目安に)
- 貯水した防災タンクなど



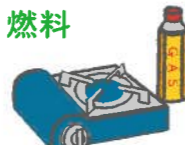
非常食品

- お米
(缶詰・レトルト・
アルファ米も便利)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフーズ・チョコレート・
アメ(菓子類など)



燃料

- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料



その他

- 生活用水
(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・
ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- バケツ・各種アウトドア用品など



家族構成に合わせた準備

非常持出品・備蓄品は、アレルギー対応の非常食やペットフードなど、家族構成に合わせて必要なものを考えてみましょう。



ローリングストック法

保管している非常食などを、定期的に消費し、その分をあらためて補充することで、「食べながら備蓄する」ということができます。



わが家の安全対策を確認しましょう

安全と思われる家の中や家のまわりでも、災害時に避難や救助の妨げになったり、落下物によるケガなどの被害を引き起こすおそれがあります。災害に備えて日頃から点検する習慣をつけましょう。

家の中の安全対策

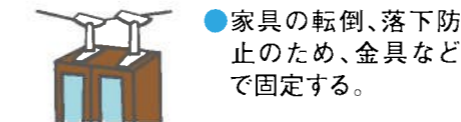
- 飛散防止フィルムを貼るなどガラスの飛散を防止する。
- 出入口付近には荷物を置かず避難口を確保する。
- 家具の転倒、落下防止のため、金具などで固定する。
- 停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオと予備の電池を準備しておく。
- 重い荷物は高い所に置かず、床に置いておく。
- タコ足配線やコードを束ねて使用しない。
- 住宅用火災警報器、消火器を設置しておく。



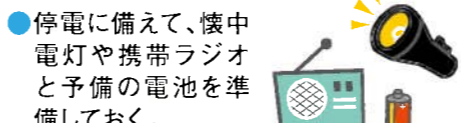
飛散防止フィルムを貼るなどガラスの飛散を防止する。



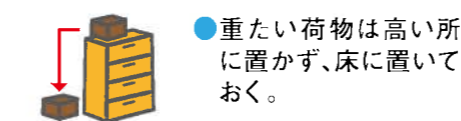
出入口付近には荷物を置かず避難口を確保する。



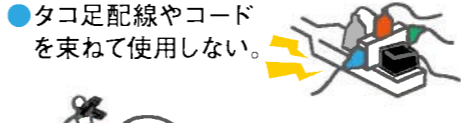
家具の転倒、落下防止のため、金具などで固定する。



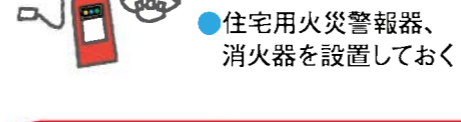
停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオと予備の電池を準備しておく。



重い荷物は高い所に置かず、床に置いておく。



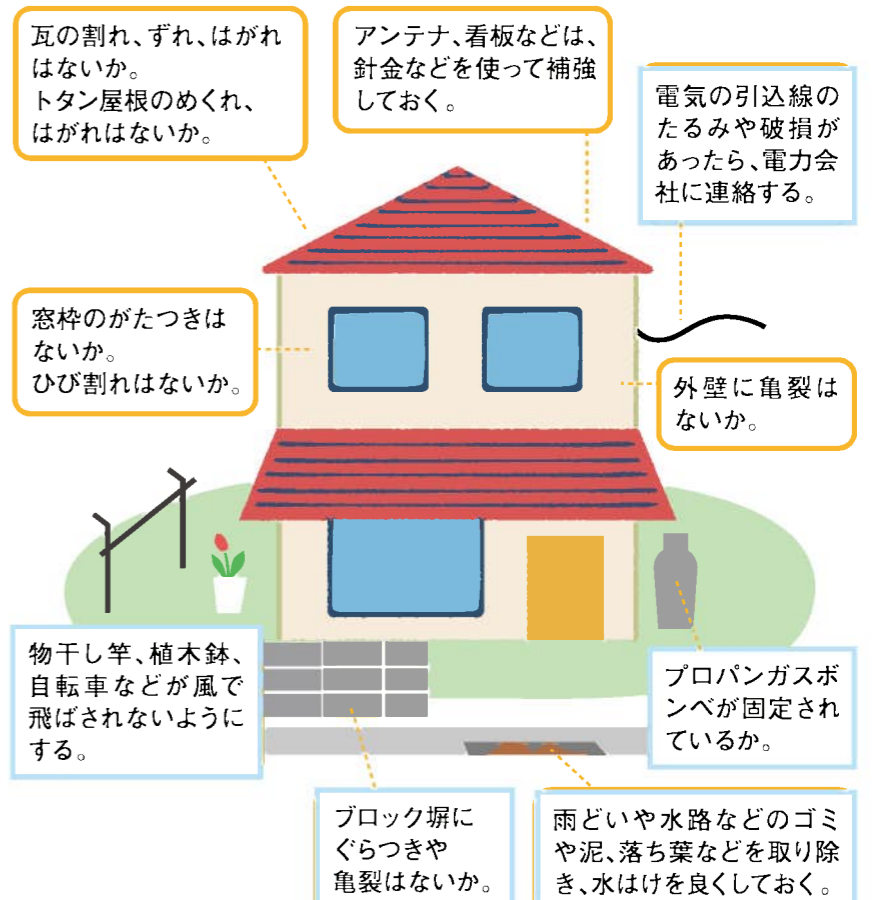
タコ足配線やコードを束ねて使用しない。



住宅用火災警報器、消火器を設置しておく。

家の外の安全対策

- 瓦の割れ、ずれ、はがれはないか。
トタン屋根のめくれ、はがれはないか。
- アンテナ、看板などは、針金などを使って補強しておく。
- 電気の引込線のたるみや破損があったら、電力会社に連絡する。
- 窓枠のがたつきはないか。
ひび割れはないか。
- 外壁に亀裂はないか。
- 物干し竿、植木鉢、自転車などが風で飛ばされないようにする。
- プロパンガスボンベが固定されているか。
- ブロック塀にぐらつきや亀裂はないか。
- 雨どいや水路などのゴミや泥、落ち葉などを取り除き、水はけを良くしておく。



自主防災組織で地域を守る

自主防災組織とは、地域のみなさんが災害に対して協力し合う組織です。地域防災活動を行うことで災害に強いコミュニティをめざしましょう。

平常時の活動

- 参加しよう、育てよう!**
隣近所などで、互いに助け合い、協力し合える体制づくりをしましょう。
- 地域を点検しよう!**
○防火水槽や消火栓の近くに、障害物がないか点検しましょう。
○避難所までの安全な経路を検討しましょう。
- みんなで学ぼう!**
防災に関する知識を身につけましょう。想定される災害と対応について話し合きましょう。
- 訓練をしよう!**
○避難所の開設・運営訓練
○避難者の誘導訓練
○初期消火訓練



災害時の活動

- 避難誘導支援** 高齢者や障がいのある人などへの避難誘導の支援
- 救出・救護活動** まず身の安全を確保し、その後被災者の救出や救護活動の支援
- 情報の収集・伝達** 災害に関する正しい情報を収集伝達
- 避難所での支援** 水や食料などの配給支援や炊き出しなどの活動支援
- 初期消火活動** 身の安全を第一に考え、消火器などを用いた初期消火の実施



情報伝達の経路



警戒レベルと防災気象情報

水害・土砂災害について、町が出す避難情報と国や県が出す防災気象情報が変わりました。もしもの時には、情報をより早く、より正確に知り、避難情報に応じた避難行動を取りましょう。

警戒レベル	避難等の住民がとるべき行動	避難情報等	警戒レベル相当情報(例)
警戒レベル 5	すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとります。	災害発生情報 ※実際に災害が発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令 【町が発令】	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報 など
警戒レベル 4 危険な場所から 全員避難	速やかに避難場所へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) 【町が発令】	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 など
警戒レベル 3 危険な場所から 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(高齢者や障がいのある人、乳幼児など)とその支援者は避難しましょう。その他の人は避難の準備を整えましょう。	避難準備・ 高齢者等避難 開始 【町が発令】	警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報 など
警戒レベル 2	災害に備え、ハザードマップなどで自らの避難行動を確認しましょう。	大雨注意報 洪水注意報 など 【気象庁が発表】	これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。国土交通省、気象庁、県が発表します。
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 【気象庁が発表】	

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

警戒レベル5ではすでに災害が発生しているもおかしくない、またはすでに発生している状況を意味します。

警戒レベル3や**警戒レベル4**の段階で、地域のみなさんで声をかけあって避難を完了させましょう。

情報の入手先

インターネットからの情報

国土交通省 川の防災情報 http://www.river.go.jp/ <input type="text" value="川の防災情報"/> <input type="button" value="検索"/>	気象庁ホームページ http://www.jma.go.jp/ <input type="text" value="気象庁"/> <input type="button" value="検索"/>
国土交通省 熊本河川国道事務所 http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/ <input type="text" value="熊本河川国道事務所"/> <input type="button" value="検索"/>	今後の雨(降水短時間予報) https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/ <input type="text" value="今後の雨"/> <input type="button" value="検索"/>
国土交通省 水害リスクライン https://frrl.river.go.jp/ <input type="text" value="水害リスクライン"/> <input type="button" value="検索"/>	洪水警報の危険度分布 https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html <input type="text" value="危険度分布 洪水"/> <input type="button" value="検索"/>
熊本県 統合型防災情報システム http://www.bousai.pref.kumamoto.jp/ <input type="text" value="熊本県 統合型防災情報"/> <input type="button" value="検索"/>	嘉島町公式ウェブサイト https://www.town.kumamoto-kashima.lg.jp/ <input type="text" value="嘉島町役場"/> <input type="button" value="検索"/>

メールなどからの情報

嘉島町一斉配信メール

- 災害時における避難勧告や避難所開設などの災害関連情報
- 警察署等からのお知らせ
- 多数の住民の方を対象とした案内情報等を配信します。

(登録方法)

- ① 右のQRコードを読み取ってメールを送信
 - ② [haishin.kashima-town@raidens3.ktaiwork.jp]にメールを送信
- ※詳しくは企画情報課(096-237-2641)にお問い合わせください。



緊急速報メール

気象庁や熊本河川国道事務所が発信する洪水情報、町が発信する避難情報を、特定地域内のスマートフォン・携帯端末に対して一斉配信します。観光や仕事、一時的に滞在している人も受信できます。(登録不要、受信料無料ですが、受信設定については各携帯電話会社Webサイトをご確認ください。)



テレビ(データ放送)からの情報

地上デジタル放送対応のテレビでは、リモコンの「**d**」ボタンを押すことで天気予報や災害に関する情報を確認することができる「データ放送」を配信しています。NHKや民放各局で配信されており、河川水位や雨量の状況も知ることができます。



家族と連絡を取る方法

	災害用伝言ダイヤル・災害用音声お届けサービス	災害用伝言板
NTT	171 にダイヤルし、ガイダンスにしたがう <input type="button" value="録音する場合 1"/> <input type="button" value="再生する場合 2"/> 連絡を取りたい人の固定電話や携帯電話の番号を入力 <input type="button" value="伝言を録音"/> <input type="button" value="伝言を再生"/>	災害用伝言板(web171) インターネットを利用して被災地の人の安否確認ができます。パソコンやスマートフォンなどから災害用伝言板(web171)にアクセスし、 <input type="text" value="連絡を取りたい人の固定電話や携帯電話の番号を入力"/> して安否情報(伝言)を登録・確認します。
携帯電話 各社の同様のサービス	NTTドコモ <input type="text" value="NTTドコモ"/> <input type="button" value="QRコード"/> ソフトバンク <input type="text" value="ソフトバンク"/> <input type="button" value="QRコード"/> au <input type="text" value="au"/> <input type="button" value="QRコード"/>	NTTドコモ <input type="text" value="NTTドコモ"/> <input type="button" value="QRコード"/> ソフトバンク <input type="text" value="ソフトバンク"/> <input type="button" value="QRコード"/> au <input type="text" value="au"/> <input type="button" value="QRコード"/>

避難の考え方

洪水の場合

3m以上の浸水想定区域内にお住まいの方

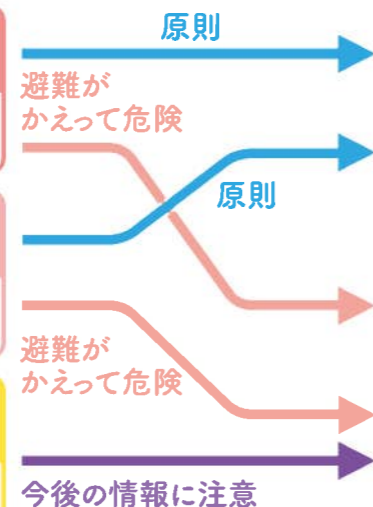
- 2階以上が浸水
- 1階の家財道具などに被害

0.5m～3mの浸水想定区域内にお住まいの方

- 家屋が床上浸水
- 自動車走行が困難

0.5m未満の浸水想定区域内にお住まいの方

- 床下浸水(大人のひざ程度)
- 歩行が困難



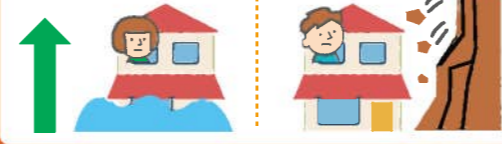
立退き避難(水平避難・広域避難)

- 指定緊急避難場所
- 安全な場所(親戚の家など)



屋内安全確保(垂直避難)

- なるべく高い場所
- がけから離れた場所



ここがポイント!

- 「避難しよう」と判断するのはあなた自身です。避難することで助かるのは、「あなたの命」であることを強く認識してください。
- 実際に災害が発生せず、避難したことが「空振り」に終わったとしても、「被害がなくて幸運だった」と前向きに受け止めましょう。
- 過去の災害で大丈夫だったからといって安心できません。過去より悪い方向に状況が進む場合があります。
- 夜間から明け方にかけて大雨や台風の接近が予想される場合は、明るい時間帯での避難を呼びかけます。早めの避難行動を心がけてください。

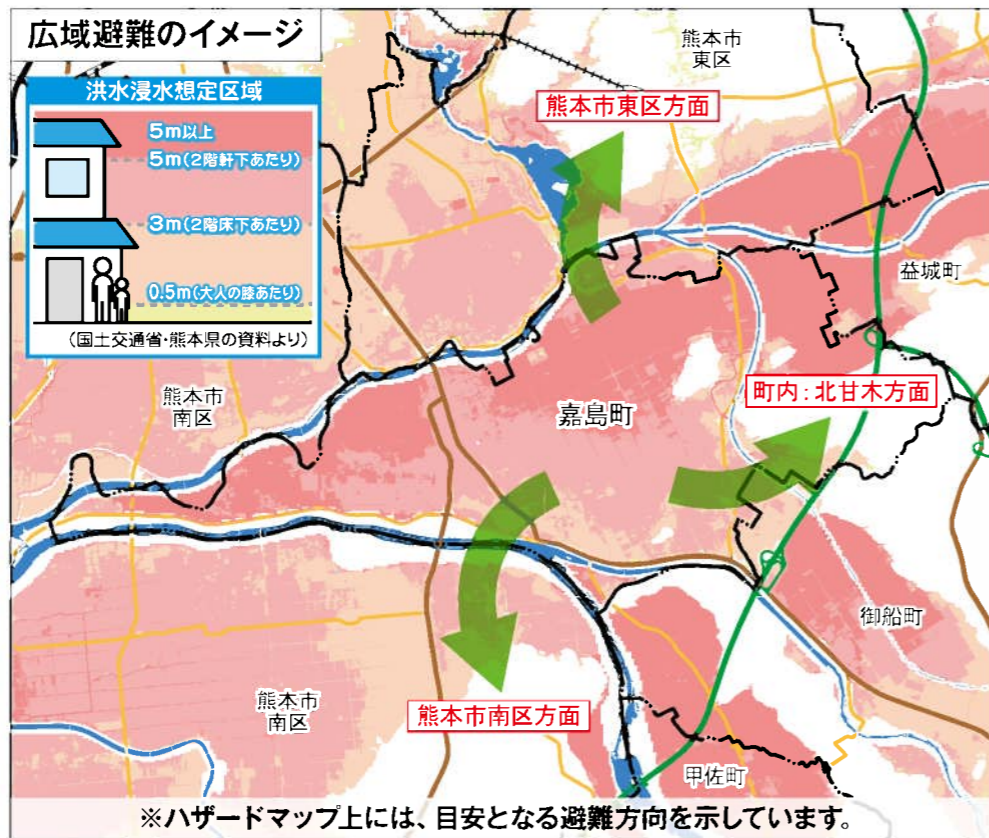
広域避難について

嘉島町は川に囲まれた地形のため、大規模な水害が発生する危険性があります。町内の浸水しない場所への避難に限らず、町外の親戚・友人宅等へ避難する広域避難について事前に話し合っておきましょう。

- 浸水しない地域の親戚、友人、知人宅等に避難させてもらえないか相談しましょう。
- もし避難できる親戚、友人、知人宅等のあてがあれば、事前をお願いしておきましょう。



町外の親戚宅等



避難のポイント

速やかに避難しましょう

避難に関する情報が発表されたら、速やかに避難しましょう。避難の際には警察・消防などの指示に従いましょう。



災害用伝言板・SNSで連絡する

電話が通じなくなることを想定し、SNSなどの連絡手段を複数用意しましょう。



避難する前に

電気のブレーカーを落とし、ガスなどの元栓を閉め、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。



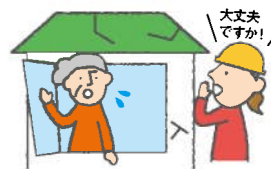
車での避難は早めに

車で避難する場合は、早い段階での判断や乗り合いでの避難など、交通渋滞を招かないよう注意しましょう。また、緊急車両の妨げにならないよう注意しましょう。



一人暮らしの高齢者などには気配りを

近所に一人暮らしの高齢者や病気の人がいる場合は、声を掛け合って一緒に避難しましょう。



避難のポイント(洪水編)

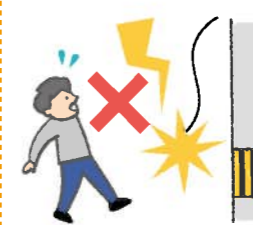
長靴は水が入って歩きにくく危険です。裸足やスリッパも危険です。なるべく運動靴をはきましょう。



大雨時の田んぼの見回りはやめましょう。



垂れ下がった電線には近づいたり、触ったりしないようにしましょう。



足元が見えないことが多いので、よく通っている道でも道路の真ん中を杖でつきながら慎重に歩きましょう。



冠水した道路を歩くのは50cm(大人のひざ程度)が限界で、水の流が速い場合は20cm程度でも危険です。無理をせず高いところで助けを待ちましょう。



避難時に特別な配慮を要する人への支援

高齢者や障がいのある人など、災害時において特に配慮を要する人は、地域のみなさんの支援が必要です。

高齢者・病気の人

- 背負う(または担架、リアカーなどを利用する)などして安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。



車いすを利用している人

- どのように介助したらいいか、本人に確認する。
- 階段では2人以上が必要。
- 上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。



目の不自由な人

- 声をかけ、情報を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい、半歩前をゆっくり歩く。



耳の不自由な人

- 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。



自宅にとどまる場合のポイント

- 浸水する階の貴重品や電化製品等は、事前に浸水しない階まで上げておきましょう。
- 数日間(最低3日)以上の避難生活に備えて、水や食料、卓上コンロ等を備蓄しておきましょう。⇒1ページ「非常備蓄品」を参照
- 停電や断水など、ライフラインが停止した場合も想定しておきましょう。

停電時に困ること



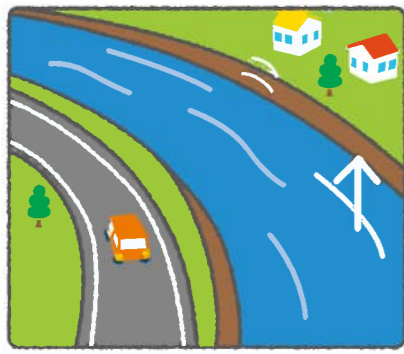
断水時に困ること



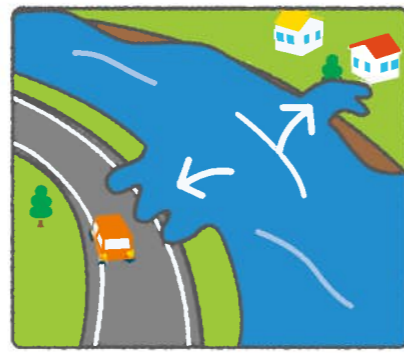
はんらん 氾濫の種類

はんらん 外水氾濫

本流から水があふれて起きる浸水などの氾濫



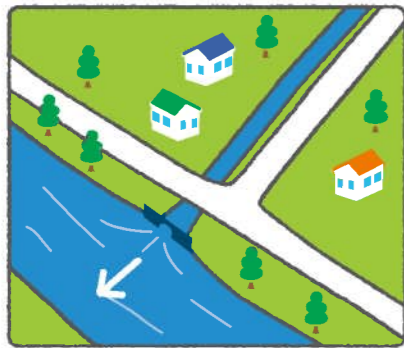
大雨によって川の水が増え、水位が上がり始める。



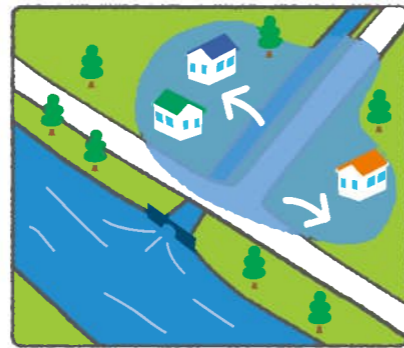
堤防いっぱいになると水が増えると、堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊したりして、周辺が浸水する。

はんらん 内水氾濫

水路などから水があふれて起きる浸水等



平地に降った雨は、側溝や水路などを通して川に排水される。



側溝や水路の排水能力を超える大雨が降ると、側溝や水路からあふれだし、道路や宅地が浸水する。

雨の降り方と強さ

1時間雨量	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上	110mm
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨	記録的短時間大雨情報
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨(気象台が発表)

※今いる場所で雨が降っていない場合、周辺や山間部で大雨が降っていたり、雷鳴が聞こえたりした場合は、急な河川の増水や局地的な大雨が降るおそれがあるため、気象情報をよく確認してください。

局地的大雨に注意

局地的大雨は、発達した積乱雲に伴って発生します。短時間のうちに雲がもくもくと大きくなって周囲が薄暗くなるようなときには、災害が発生する可能性が高まっていることを意識してください。

次のような現象を確認して危険を感じたら、すぐに身の安全を確保しましょう。

- 真っ黒い雲が近づき、あたりが急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、雷の光が見えたりする。
- 急に冷たい風が吹く。
- 大粒の雨やひょうが降り出す。



河川の基準水位

※洪水浸水想定区域内にお住まいの方は特に河川水位の情報や町からの情報に注意してください。

	城南(緑川)	大六橋(加勢川)	嘉島(矢形川)	
▼ 堤防を越える				
▼ 氾濫危険水位	河川が氾濫するおそれのある水位	6.20m	4.40m	7.01m
▼ 避難判断水位	避難情報発表の目安となる水位	5.80m	3.90m	6.91m
▼ 氾濫注意水位	河川氾濫の発生を注意する水位	4.30m	3.20m	5.75m
▼ 水防団待機水位	水防団が待機する目安となる水位	3.30m	2.50m	4.68m

危機管理型水位計

洪水時の水位観測に特化した水位計で、河川の水位が上昇した時に自動的に作動し水位を観測します。(平常時は1日1回のみ)

※水面から堤防までの高さが確認できます。

危機管理型水位計運用協議会
川の水位情報
<http://k.river.go.jp/>

川の水位情報

検索



「上仲間(緑川)」

洪水警報の危険度分布

中小河川の洪水災害発生の危険度の高まりを、5段階に色分けして示す情報です。避難にかかる時間等を考慮して、3時間先までの雨量予測値(10分ごとに更新)を用いており、洪水警報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。



色が持つ意味	説明
極めて危険	過去の重大な洪水災害発生時に匹敵する基準にすでに到達。重大な洪水災害がすでに発生しているおそれが高い極めて危険な状況。
非常に危険	中小河川がさらに増水し、今後氾濫等の重大な洪水災害が発生するおそれが高い状況。水位が一定の水位を越えている場合には、速やかに避難を開始する。
警戒(警報級)	水位が一定の水位を越えている場合には、避難の準備が整い次第、避難を開始する。高齢者等は速やかに避難を開始する。
注意(注意報級)	ハザードマップ等で避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。

※気象庁ホームページより(一部加工)

指定緊急避難場所・指定避難所一覧

指定緊急避難場所 災害から命を守ることを最優先として緊急に災害の危険から逃れるための場所。

指定避難所 災害により住宅を失った場合等において、一定期間避難生活をする場所。
(指定緊急避難場所を兼ねます)

○:使用可能 △:条件つきで使用可能 ×:使用不可

名称	住所	連絡先(096-)	対応災害種別		
			洪水	土砂災害	地震
● 嘉島町民体育館	上島926	237-2005	△(2階以上)	—	○
● 嘉島町民会館	上島545	237-0058	△(2階以上)	—	○
● 嘉島町保健センター	上島545	237-2300	△(初動対応時のみ)	○	○
● 嘉島町子育て支援センター	上島551	237-5559	△(2階以上)	—	○
● 嘉島中学校	上島887	237-0014	△(2階以上)	—	○
● 嘉島西小学校	上島1919-2	237-0013	△(2階以上)	—	○
● 嘉島東小学校	上六嘉2063	237-0002	△(2階以上)	—	○
● 嘉島町ふれあいセンター	上六嘉2063	237-2641	×	—	○
● 嘉島町文化センター	上六嘉917	237-0464	○	○	○
● 嘉島町公民館近隣公園分館	鯉2820	237-0058	×	—	○
下六嘉コミュニティセンター	下六嘉3287	237-1112	○	—	○
井寺公民館	井寺2889-1	237-1112	○	—	○
北甘木公民館	北甘木1967-2	237-1112	○	—	○

※状況に応じて、上記避難所の中から選定し、開設します。

※緊急時に上記の避難場所まで行くのが難しいときは、洪水時であれば出来るだけ高い場所等、地震時であれば近くの公園等に速やかに避難し、命を守る行動を取りましょう。

避難所生活の心得

避難所の生活では、ほかの人の居住スペースに立ち入ったり、のぞいたり、大声を上げたり、決められた場所以外で喫煙するのはマナー違反です。ルールを守り、避難者もできる範囲で役割分担をして助け合いながら生活しましょう。

避難所到着後の例

1 連絡先などの申告

避難所に到着したら、住所・氏名・連絡先を申告し、できるだけ隣近所の人や地域ごとにまとめて過ごすようにします。帰宅困難者はその旨を申告します。



2 役割分担

お互いに協力し合って避難所を運営しなければならぬことも多くあります。受付や炊き出しなど、割り当てられた係の仕事はしっかり行いましょう。



3 体調管理・衛生管理

毎日の検温や手洗い・うがい、マスク着用の徹底など、感染症等にも十分注意する必要があります。トイレの清掃やゴミ捨て当番などを決めて衛生管理をしましょう。



避難所生活における配慮

要配慮者への配慮

誰もが安心して避難生活が送れるよう、多様な人に配慮したスペース作りがけましょう。

- 乳幼児スペース ■ 福祉スペース
- 多目的スペース ■ 情報コーナー など

女性への配慮

女性の視点を活かした避難所運営を行いましょう。

- 女性専用スペースの確保 (着替え・授乳・洗濯場所など)
- 女性担当者による物資の配布
- 犯罪や暴力の防止など

ペットの管理

避難所ごとにペットの受け入れ方や条件が異なります。ペットを連れて避難する場合は、避難所のルールに従って、飼い主が責任を持ちましょう。

洪水ハザードマップについて

洪水ハザードマップは、**計画規模[L1]**と**想定最大規模[L2]**の2種類を作成しています。

ハザードマップの使い方

- 1 自宅周辺の危険区域(洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域など)を確認
- 2 避難場所の位置、自宅から避難場所へ向かう安全な経路の検討
- 3 避難経路中の危険箇所や目印となる場所を実際に歩いて確認



洪水浸水想定区域

大雨に伴う洪水によって河川が氾濫した場合の浸水範囲と深さを示したものです。各種ハザードマップの対象河川と想定降雨は以下のとおりです。

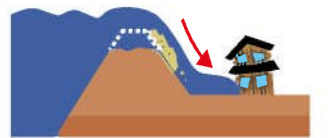
対象となる河川	想定的前提となる降雨		作成主体と作成年月	
	計画規模[L1]	想定最大規模[L2]		
緑川水系 (国管理区間)	緑川	緑川流域の12時間総雨量279mm (年超過確率1/150)	緑川流域の12時間総雨量595mm (1000年に一度程度)	国土交通省 熊本河川 国道事務所 平成29年 (2017年)5月
	加勢川			
	御船川			
	木山川	木山川流域の時間雨量86mm (年超過確率1/50)	加勢川流域の12時間総雨量756mm (1000年に一度程度)	熊本県 土木部 河川課 平成31年 (2019年)3月
	矢形川	矢形川流域の時間雨量80mm (年超過確率1/50)		

家屋倒壊等氾濫想定区域

(想定最大規模の洪水浸水想定区域をもとに検討)

氾濫流による家屋倒壊等

堤防決壊などの氾濫によって木造家屋が倒壊するおそれがある区域



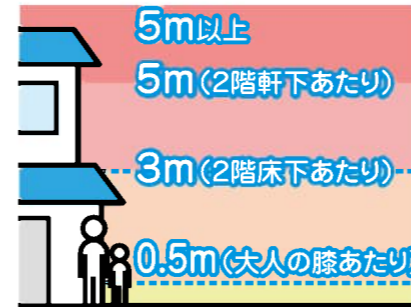
河岸侵食による家屋倒壊等

氾濫によって堤防などの河岸が削られることで、木造・非木造の家屋が倒壊するおそれがある区域



土砂災害警戒区域・特別警戒区域

熊本県が令和3年2月現在で告示している土砂災害警戒区域・特別警戒区域を示しています。



家屋の1階がすべて水に浸かってしまい、家財道具などに重大な被害がでます。

家屋が床上浸水します。また、自動車の走行が不可能となるばかりか歩くことも困難になり、生活に重大な影響がでます。

このポケット内には、**洪水ハザードマップ(大判)**が入っています。